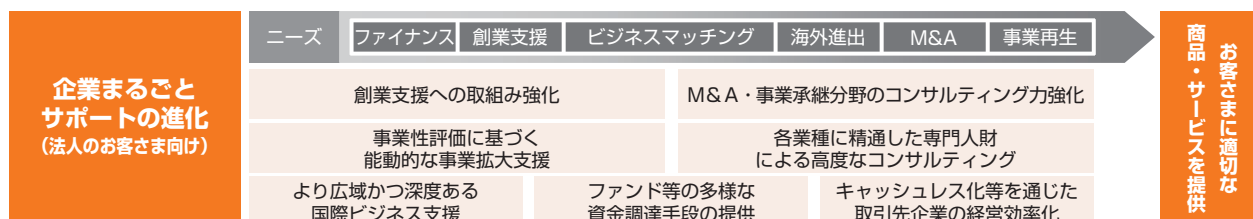


企業まるごとサポートの進化

中期経営計画「飛翔 2020 ～知恵をしぼろう～」においても、「地域の発展なくして西日本フィナンシャルホールディングスグループの発展なし」との信念の下、「企業まるごとサポート」をコンセプトに、地元を重視した営業を展開し、創業期、成長期などのライフステージ^{〔注〕}に応じたサポートや成長ビジネス分野のサポートに努めています。

今後も、資金供給者としての役割にとどまらず、お客さまのライフステージから生じるさまざまなニーズに対して、グループ一丸となった「企業まるごとサポート」を展開することにより、お客さまに選ばれる「総合金融グループ」を目指します。



◎金融仲介機能の発揮に向けた取組み

西日本FHグループは、長い歴史の中で、お客さまのライフステージにあわせて、融資のみならず多面的な支援を行い、地元産業の育成・企業振興に取り組んでいます。

〔注〕ライフステージの定義

創業期：創業から5年以内

成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超

安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%～120%

低迷期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満

再生期：貸付条件の変更、または延滞がある期間

地元重視の営業展開

西日本FHグループでは、2019年9月末時点で、西日本シティ銀行の与信先の9割強が地元九州向け、長崎銀行についても与信先の9割弱が地元長崎県向けといったように、地元を重視した営業展開を行っています。

【地域別の与信先数（2019年9月末）】

西日本シティ銀行

	全与信先	福岡県	九州(福岡県を除く)	東京都・大阪府	その他
与信先数(先)	41,749	35,196	4,915	546	1,092

長崎銀行

	全与信先	長崎県	その他
与信先数(先)	2,480	2,201	279

ライフステージに応じたソリューションの提供

創業期のお客さまの支援

創業、新規事業開拓を目指すお客さまに、融資や企業育成ファンドへの出資等を通じて事業立ち上げ時の資金需要やコンサルティングニーズに対応しているほか、補助金や制度融資のご紹介など情報面での支援や、外部機関との連携による新たな技術の製品化・商品化の支援などを行っています。

また、金融機関に求められる起業・創業から立ち上がりまでの一貫した資金支援を実現し地域産業の育成を図る観点から、西日本FHグループでは、外部機関やグループ各社との提携、連携を通じて創業支援への取組みを強化しています。これからも、西日本FHグループの「良きDNA」を継承・発展させ、グループ一丸となって地元産業の発展に資するさまざまな支援に取り組めます。

【関与した創業・第二創業^{〔注1〕}の件数（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
創業（件）	2,070	8
第二創業（件）	47	0

〔注1〕 第二創業の定義

- ・既に事業を営んでいる企業の後継者等による新規事業の開始
- ・既存の事業を譲渡（承継）した経営者等による新規事業の開始
- ・抜本的な事業再生により業種を変更し再建

【創業支援先数（支援内容別）（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行
創業計画の策定支援（先）	433
創業期 ^{〔注2〕} の取引先への融資（プロパー）（先）	551
創業期の取引先への融資（信用保証付）（先）	959
政府系金融機関や創業支援機関の紹介（先）	127
ベンチャー企業への助成金・融資・投資（先）	9

〔注2〕 創業5年以内

■ NCB創業応援サロンの設置

西日本シティ銀行は、事業計画書の策定支援、創業資金支援、経営指導・経営相談、各種セミナーの開催など、創業に関するあらゆるコンサルティングを行い、起業家同士の交流を図る場として「NCB創業応援サロン」を小口事業資金相談窓口の「ビジネスサポートセンター（BSC）福岡」・「BSC北九州」内に設置しています。

本サロンでは、創業支援に関する専門スタッフの「創業カウンセラー」が常駐し、さまざまな相談にきめ細かに対応しています。



創業応援サロン（福岡）



創業応援サロン（北九州）

サロン来訪者累計
6,242名
創業カウンセラー
28名

2019年9月末

■ 「NCB創業相談会」・日本政策金融公庫との「合同出張相談会」の開催

西日本シティ銀行は、創立15周年記念事業の一環として、2019年10月15日から11月15日までの1か月間、創業応援サロン福岡・北九州で「NCB創業相談会」を開催しました。

また、開催期間中には、日本政策金融公庫と合同出張相談会を福岡市・久留米市・北九州市・大牟田市・宗像市の5会場で開催しました。



「合同出張相談会」（福岡会場）

■ 西日本シティ銀行の創業支援メニュー

西日本シティ銀行では、さまざまなメニューで創業期の皆様をサポートしています。

NCB創業応援パック

**ご利用
いただける方**

当行に普通預金口座を開設いただいている創業5年以内の法人・個人事業主の方
（※西日本シティVISA法人カードは当行の融資を受けている方）

NCBビジネス
ダイレクト
月額基本手数料
12ヶ月無料

西日本シティ
VISA法人カード
年会費
初年度無料

NCB R&C会員
年会費
初年度無料

free for
西日本シティ銀行
月額利用料
6ヶ月無料

西日本シティ銀行
アプリ
広告掲載料
初回掲載料半額

※本プランは予告なく変更、または取扱いを中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

創業支援連携サービス

オフィス支援

コワーキングスペース・シェアオフィスの「The Company」「COMPASS小倉」「天神ベース」
新規会員登録費用が無料

広報支援

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」を
プラン開始希望日から半年間、3配信まで無料

飲食店支援

●飲食店開業時に必要な厨房機器、備品などを
「テンポスバスターズ」にて特別価格で提供
●開業後の**経営サポート実施**

成長期・安定期のお客さまの支援

事業のさらなる成長を目指すお客さまに対しては、ファンド等の多様な資金調達手段の提供や地場企業の上場支援、海外金融機関等との連携による海外進出支援等により、販路拡大や新たな事業展開等のサポートを行っています。

【販路拡大支援先数（注1）（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行
地元（注2）（先）	424
地元外（注3）（先）	12
海外（先）	84

〔注1〕 販路拡大支援先：ビジネスマッチング（契約に基づくもの）の成約、商談会やビジネスマッチングフェアでの成約、個別の紹介（契約に基づかないもの）の成約

〔注2〕 地元：福岡県を含む九州

〔注3〕 地元外：地元及び海外を除く

■ ファンド等の多様な資金調達手段の提供

西日本FHグループは、創業・新規事業支援、成長支援、事業承継支援、6次産業化支援、シーズ産業化支援、経営改善・事業再生支援等企業のライフステージに対応した各種ファンドに出資しており、金融機関の本業である貸出のほか、これらのファンドも活用しながら、地域の企業の成長を金融面から支援しています。

【西日本シティ銀行が出資する各種ファンド（注）の活用件数（2019年9月期）】

ファンド	2019年9月期の件数	2019年9月期までの累計件数
NCB九州6次化応援ファンド	0	11
NCB九州活性化ファンド	0	10
QB第一号ファンド	9	34
合計	9	55

〔注〕 各種ファンド

<NCB九州6次化応援ファンド>

九州における1次産業者と2次・3次産業者との連携による新たな事業機会の創出、付加価値創造を目的としたファンド。これまでの出資累計は、合計11件/722百万円（2019年9月末）。地方銀行ではトップの実績。

<NCB九州活性化ファンド>

多様な成長資金の供給により、地域経済の活性化・雇用の創出に資する地場企業の支援を目的としたファンド。

<QB第一号ファンド>

株式会社産学連携機構九州と共同で設立したQBキャピタル合同会社が運営する、九州地域の大学の研究成果を活用した新産業の創出による九州地域活性化を目的としたファンド。

■ 農林漁業分野への支援

西日本シティ銀行は、九州の基幹産業でもある農林漁業分野にも力を入れています。NCB農業応援資金やNCB九州6次化応援ファンドなどによる金融面の支援のほか、自治体や業界団体と連携したセミナーなどを開催しています。



■ より広域かつ深度ある国際ビジネス支援

西日本FHグループは、特にアジアを中心とした海外ビジネスに関する地元企業のニーズにお応えすべく、現地の提携先や国際業務経験の豊富な専門家とのアライアンスによる、金融サポートの枠を超えたコンサルティングを行うとともに、先進的な商品・サービスを展開しています。

豊富な国際ビジネス支援態勢

西日本シティ銀行	●国際部/国際ビジネス支援室 →専門的なスキル・ノウハウを有するスタッフによる国際ビジネス支援 ●ワールド・ビジネス・スクエア（WBS） →外国送金、信用状取引といった外国為替取引を含め海外ビジネスをトータルにサポート ●NCB外為スーパーダイレクト・NCBダイレクト為替予約 →インターネットによる外国送金、輸入信用状の申込・照会などの幅広い外為取引
NCBリサーチ&コンサルティング	●国際コンサル室 →国際経験豊かなスタッフによる海外提携金融機関・弁護士・保険会社等とも連携したきめ細かな海外進出支援 ●「アジアへの扉」（ウェブサイト） →きめ細かな情報発信 ●アジアビジネスセミナー →国際ビジネスに関する各種セミナーの開催
九州カード	●多様なクレジットブランド →VISA、Master、JCB、AMEX、銀聯、シンハンカードを基軸としたフルブランド展開

外部との連携も含めた広域な海外活動拠点

※ソウル駐在員事務所は、2019年11月29日に国際部に統合しました。

■ 事業者向け「キャッシュレス決済導入セミナー」の開催

西日本FH・西日本シティ銀行・長崎銀行・九州カード・Jペイメントサービスは、多様化・複雑化するキャッシュレス決済に対応するため、事業者さま向け「キャッシュレス決済導入セミナー」を2019年8月から9月にかけて福岡、久留米、北九州、長崎、八代の5ヶ所で開催しました。

本セミナーでは、西日本FHグループの決済代行会社であるJペイメントサービスが、キャッシュレス決済の動向とその対応策について説明しました。



「キャッシュレス決済導入セミナー」(長崎会場)

低迷期・再生期のお客さまの支援

経営改善、事業再生等が必要なお客さまに対しては、中小企業金融円滑化法に基づき、外部機関とも連携しながら、経営再建計画策定支援や貸付条件の変更等の対応を行っています。

【経営改善支援取組み先のうち債務者区分がランクアップした先、経営改善計画を策定した先数（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
期初債務者数	41,430	2,571
経営改善支援取組み先（注）（先）	749	70
（経営改善支援等取組み率）	(1.8%)	(2.7%)
うち期末に債務者区分がランクアップした先（先）	35	1
（ランクアップ率）	(4.6%)	(1.4%)
うち再生計画を策定した先（先）	474	55
（再生計画策定率）	(63.2%)	(78.5%)

〔注〕経営改善支援取組み先：西日本シティ銀行または長崎銀行が主導して、経営改善計画策定や経営改善計画の実現に向けた支援を行う先。

■ 事業承継・M&A分野の支援

西日本シティ銀行（プライベートバンキング部、法人ソリューション部）及びNCBリサーチ&コンサルティング（事業コンサル部）では、西日本FHグループのお客さまニーズを把握し、外部機関とも連携しながら円滑な事業承継・M&Aをお手伝いしています。

【M&A支援先数（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行
事業承継支援先数（先）	353
M&A支援先数（注）（先）	12

〔注〕NCBリサーチ&コンサルティングによる支援先を含む。

● 「M&Aプラス」サービスへの参画

西日本シティ銀行は、デトロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社が運営する「M&Aプラス」サービスに参画しました。このサービスは、事業承継問題や事業成長戦略で課題を抱える中堅・中小企業とファイナンシャルアドバイザーをオンライン上でマッチングすることを目的としたサービスで、全国の金融機関や会計事務所等が参画しています。

● 「Batonz」サービスへの参画

西日本シティ銀行は、株式会社バトンズが小規模事業者の後継者不在問題を解決することを目的に運営する「Batonz」サービスに参画しました。このサービスは、オンラインによる事業承継マッチングプラットフォームで、全国の金融機関と会計事務所が参画しています。

コンサルティング機能の強化

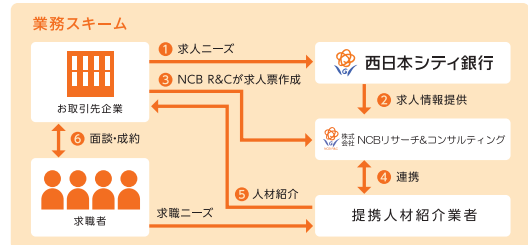
■ コンサルティング営業室の新設

西日本シティ銀行は、2019年4月1日に、付加価値の高いサービスの提供機能を一層強化するため、法人ソリューション部に「コンサルティング営業室」を新設し、お客さまが抱える経営上のさまざまな課題を共有し、その解決に向けて提案を行っています。

■ ～九州地銀グループ初！～ 人材紹介業への参入

NCBリサーチ&コンサルティングは、有料職業紹介事業者の許認可を取得し、九州地銀グループ初となる人材紹介業に、2019年4月より参入しました。

人口減少や少子高齢化の進展に伴って増加するお客さまの人材に関する課題解決に取り組んでいます。



事業性評価への取組み

西日本FHグループは、従来から地域金融の円滑化を図ることが社会的責任を果たすうえでもっとも重要な役割と捉え、中小企業のお客さまの経営支援の強化に積極的に対応しています。

事業の内容や成長可能性を適切に評価する「事業性評価」を実践することにより、経営課題の解決・事業価値の向上に積極的に取り組みます。

【お客さまの本業支援に関連する人材育成の状況（2019年9月末）】

	西日本シティ銀行
資格取得者数〔注1〕（人）	1,743

〔注1〕 資格取得者数：事業性評価や本業支援等の取組みに資する資格。

【メイン取引先の状況（2019年9月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
メイン取引先〔注2〕数（先）	21,011	1,408
メイン取引先の融資残高（億円）	30,331	431
メイン取引先のうち経営指標等〔注3〕が改善した先数（先）	16,953	902
メイン取引先のうち経営指標等が改善した先の融資残高（億円）	25,833	281

〔注2〕 メイン取引先：取引状況を基にメインとして位置づけしている事業性融資取引先。

〔注3〕 経営指標等：売上高、営業利益率等。

■ 動産・債権譲渡担保融資の取組み

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資として、動産・債権担保融資（ABL）〔注1〕にも取り組んでいます。さらに、グループ各社を含む民間の投資会社等が組成する企業再生ファンド〔注2〕への出資を通じ、再生に取り組むお客さまの支援を行っています。

〔注1〕 借り手の事業活動そのものに着目し、商品在庫、原材料、機械設備等の動産や売掛債権を担保に資金を貸し出す仕組み。

〔注2〕 過剰債務に陥った企業の立て直しを目的に、投資家から資金を集め、再生ビジネスに関与するファンドのこと。

【動産・債権担保融資（ABL）の実績（2019年9月末）】

■ 西日本シティ銀行

	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	46	18	28
融資残高（億円）	160	3	156
融資枠設定額（億円）	186	3	183

■ 長崎銀行

	動産・債権譲渡担保融資	うち売掛債権担保融資	うち動産担保融資
融資残高・枠設定先数（先）	33	2	31
融資残高（億円）	14	0.3	14
融資枠設定額（億円）	0.4	0.4	—

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

西日本FHグループでは、お客さまと保証契約を締結する場合やお客さまから既存の保証契約の見直しのお申し出があった場合、お客さまから保証債務の整理のお申し出があった場合には、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき誠実に対応するよう努めています。

【「経営者保証に関するガイドライン」に係る取組状況（2019年9月期）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
新規に無保証で融資した件数（件）	3,905	127
新規融資件数（件）	14,881	557
経営者保証の代替的な融資手法として、ABLを活用した件数（件）	0	0
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	26.2%	22.8%
保証契約を変更した件数（件）	1	0
保証契約を解除した件数（件）	351	14
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（件）	0	0
うち、メイン行としての成立件数（件）	0	0

【「経営者保証に関するガイドライン」の活用先数、及び全与信先に占める割合（2019年9月末）】

	西日本シティ銀行	長崎銀行
全与信先数（先）①	41,749	2,480
ガイドライン活用先数（先）②	3,299	130
割合 ②／①	7.9%	5.2%

経営者保証に関するガイドライン

- ・「経営者保証に関するガイドライン」とは、経営者保証（中小企業の経営者などによる個人保証）において合理性が認められる保証契約の在り方等を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うためのルールとして、2013年12月5日に経営者保証に関するガイドライン研究会（全国銀行協会及び日本商工会議所が事務局）が公表したものです。
- ・「経営者保証に関するガイドライン」には、中小企業等の経営者の皆さまが金融機関と保証契約を締結する際や、金融機関等の債権者が保証履行を求める際における自主的なルールが定められています。